

幼児教育学科（第一部・第三部）のカリキュラム・ポリシー

1. 教育課程編成方針

以下の方針に基づき、幼児教育学科（第一部・第三部）のカリキュラムを編成する。

CPⅠ：(教養科目の編成方針)

教養科目に関しては、社会・地域とのつながりを理解し、保育者として必要な豊かで柔軟な人間性を育むという方針のもと、初年次教育と教養教育の観点から基礎演習、現代の暮らし・経済、言語表現力、情報リテラシー、健康・体力に関する科目を配した教育課程を編成する。

CPⅡ：(専門科目の編成方針)

専門科目に関しては、現代の保育・教育ニーズに対応できる優れた専門職業人（保育者）を育成するために、教育・保育についての理解と子どもについての理解、保育に関する基礎知識と技能や保育実践を有機的に関連させた教育課程を編成する。

(「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科カリキュラムの関係)

カリキュラム	教養科目	専門科目	
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	地域貢献力
①知識・技能	○	◎	○
②思考力・判断力・表現力	○	◎	○
③主体性・多様性・協働性	○	◎	◎

2. 教育課程実施方針

以下の方針に基づき、幼児教育学科（第一部・第三部）の教育を実施する。

CPⅢ：教育・保育の目的を理解し、保育の対象である子どもやその保護者について理解できる保育者を養成する。(①)

CPⅣ：上記の目的を達成できるように、具体的な教育・保育の内容や実践的な方法を理解し、習得を目指す。(①)

CPⅤ：知識、技能の修得に留まらず、自ら課題を発見し、学んだことを基に研究を重ねることを通して、進んで保育実践力を高めていく姿勢と能力を育てる。(②③)

CPⅥ：1年次より「ポートフォリオ」を作成し、学びの進捗を自己点検し、卒業年次科目である「教職実践演習」や幼児教育祭で保育者としての専門的な学びの総括を行う。(②③)

注：「現代に求められる資質・能力」と教養・専門科目に関する到達指標との関係、および各科目と到達指標との関係については別項を参照。